

令和7年4月1日

保護者 様

小野市立小野中学校長

全国瞬時警報システム(J・アラート)が作動した際の対応について

平素は、本校教育にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

みだしの「全国瞬時警報システム(J・アラート)」につきましては、報道等でもすでに周知されております。

万一の事態を想定し、生徒の安全確保ができるように、基本的 な対応を下記のとおりとします。様々な場面が想定されますので、保護者の皆様におかれましても、生徒の安全が確保できますよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

記

発達段階に応じて、次のとおり、周知資料をもとに安全指導を行ないます。登下校中をはじめ、屋外にいる場合は、警報の情報を得られなかったり、対応に困ったりすることも想定されます。万一の場合、災害時への対応とあわせまして、安全確保のため、様々な場面で、保護者の皆様、地域の皆様ご協力をよろしくお願いいたします。

(1)登校前 警報が作動し、安全が確認できない状況の場合

安全を確保して「自宅待機」 安全確認の連絡後、登校

(2)在校中 教職員が警備防災マニュアルに基づき、避難誘導を行い、生徒の安全を確保する。

【屋内・校舎内の場合】

できるだけ窓から離れる。(できれば窓のない部屋に避難)

【屋外・校舎外の場合】

頑丈な建物に避難する。(校内:校舎・体育館等 校外:引率教員が適宜誘導)

※頑丈な建物(地下)へ移動できない場合は、物陰に身を隠すか、地面に伏せ、頭部を守る。

(3)登下校中 可能な限り複数で、各自、上記「校舎外」の対応で安全を確保する。

(4)下校後 上記「屋内(校舎内)」「屋外(校舎外)」の対応を各自で行う。日頃から、家族等で対応について、話し合いをしておく。

《参考資料》内閣官房 国民保護ポータルサイト <http://www.kokuminhogo.go.jp/>

※基本的な対応方針は、別添の県対応方針に準ずる。

◆留意事項 冷静に落ち着いて行動する。正しい情報をもとに、可能な限り複数で対応する。

弾道ミサイル発射に係るJアラート等を通じた緊急情報発信時の対応例

(H29.9.15改訂)

兵庫県教育委員

	緊急情報発信時	発令後の対応	安全の確認方法
生徒が 在宅中	・自宅待機	・安全の確保が確認できるまで自宅待機 ・安全の確保が確認できれば登校	・テレビ・ラジオ・インターネット等を通して、情報収集に努め、安全の確保等について確認
生徒が 登下校中	・下記の行動例に基づき行動 ・公共交通機関乗車中等については当該機関の指示による	・安全の確保が確認できるまで安全な場所で待機 ・安全の確保が確認できれば登下校	(確認事項の例) ・ミサイルの飛翔方向、着弾場所 ・ミサイルの着弾や落下物の有無
生徒が 在校中	・下記の行動例を参考とした、危機管理マニュアルに基づいた対応	・安全の確保が確認できるまで安全な場所で待機 ・安全の確保が確認できれば授業を再開、場合によっては下校	・学校、通学路等の被害の有無 等

<ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動例>

活動場所の別	とるべき行動の例
屋外にいる場合	・近くのできるだけ <u>建物の中、又は地下</u> などに避難する。 ・近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守る。
屋内にいる場合	・できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。